

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890200011
法人名	有限会社 ウェルケアサービス
事業所名	ウェルえがお
所在地	愛媛県今治市恵美須町2丁目2番地1
自己評価作成日	平成 26年 6月 16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年7月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、地域に根差した事業所を目指し、地方祭の宮出しで、事業所の玄関先に立ち寄り、地域のボランティア劇団の慰問公演や近隣の子供たちとのふれあいを定期的に行い、地域交流を積極的に行っている。また、お花見や初詣、立地条件を活かした特等席でのおんまくの花火大会見物等を行い、利用者様が四季を感じられる様、支援している。【こすもす】では、利用者様の体調等を考慮し、外出が難しい場合があるが、多くのご家族様に協力を頂き、事業所内での行事にも力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

年2回、家族会を開催しており、先日の家族会には、15名程のご家族の参加があった。ご家族のみで話し合う時間を持ち、アンケートに記入していただいた。会議後は事業所内で行う夏祭りにご家族も加わり、利用者と一緒にスイカ割り等を楽しまれた。
調理専門の職員を配置して、各ユニット別々のメニューになっている。利用者の希望で朝食は、隔日に和食と、パン・スープ・サラダ等の洋食になっているユニットがある。メニューは、食堂の壁に掲示されていた。職員は、利用者の中に入り、同じものを食べながら、食器の位置を代えたり、コップを支えたりして、利用者が食べやすいように支援されていた。毎月の誕生会は、ご本人のお好きなお寿司や、職員と利用者でケーキやどら焼き等を手作りしてお祝いされている。
事業所では、センター方式のアセスメント表をアレンジして、個々の思いや要望、暮らし方の希望、できること・できないこと等の情報に取り組んでおり、3~6ヶ月に1回更新して計画につなげておられる。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38) <input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20) <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4) <input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目: 28) <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

ウェルえがお

(ユニット名)

こすもす

記入者(管理者)

氏名

黒川 恭嗣

評価完了日

平成 26年 6月 16日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 管理者とスタッフは、朝礼時等に理念を唱和し理念を共有すると共に日常のケア等においても理念の実践に向け、日々取り組んでいる。 また、理念をスタッフルーム及び各ユニットに掲示する事により、理念の意識付けを図っている。	
			(外部評価) 開設時に、法人代表者が理念を「利用者第一主義」と決め、事業所名でもある「えがお」をキーポイントにした具体的な3項目の理念や誓いの言葉を作成されている。理念は、共用空間等に掲示し、職員は「笑顔で接する」ことを心がけておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地方祭等、地域での行事には利用者と共に積極的に参加し、交流を深めている。天候や利用者の状態にもよるが、近隣の公園等への散歩も日常的に行い、地域住民とのふれあえる様、支援している。また、ボランティアの訪問も多く、演奏会や演劇等の公演がある。	
			(外部評価) 法人代表者は、自治会の役員を務めており、地域のゴミ収集場の清掃等の活動をされている。日頃は、近くの公園等に散歩に出かけハトに餌をやったり、近隣の方と挨拶を交わしたり、遊びに来ている保育園児に話しかける利用者もあるようだ。5月の地域の祭りには、お神輿が玄関前に来てくれ、掛け声に合わせて手拍子をしながら見学された。8月の「おんまく花火大会」の折りには、地域の方が港に近い駐車場に椅子を並べて席を準備して下さり、地域の方と一緒に楽しんでいる。又、職員と地域の運動会の応援に出向くこともある。1階の併設のデイサービスに、日本舞踊やコーラス等のボランティアの訪問があると、利用者も参加して一緒に楽しめるよう支援されている。管理者は、今後さらに「地域の方と協力関係を作っていきたい」と話しておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の理解や関わり方についての相談や施設への見学等には随時対応しており、地域行事への参加等により、地域住民に認知症の理解を得られる様、努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1度の運営推進会議にて、利用者の状況や事業所の今後の取組みや方針等の報告を行い、市職員、民生委員、利用者家族等から様々な角度から意見を頂き、サービスの質の向上に活かせる様、努めている。	
			(外部評価) 会議には、市の担当者や自治会長、民生委員、ご家族1～2名が参加されている。会議は、入居状況、行事や取組み等の報告を行い、意見をうかがっておられる。管理者は、今後「他の事業所と、相互に会議に参加し合うようなことにも取組みたい」と考えておられた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 毎月末に入居状況の報告の他、困難事例等、対応に苦慮した場合には、適宜相談し助言を頂ける様にしている。	
			(外部評価) 運営推進会議時に、市の担当者から季節の感染症予防の注意喚起等、アドバイスをいただいている。地域包括支援センターからは地域の高齢者の支援について相談があったり、利用者の紹介もある。市のグループホーム連絡会が発足し、管理者は、今後、協力関係を作っていきたいと話しておられた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の防止には徹底して取り組んでおり、玄関及びユニットの出入り口は、日常的に開放している。但し、転落防止等、利用者の安全にかかわる事に関しては、家族等に相談し、禁止対象行為にならない様に使用している。	
			(外部評価) 事業所は、建物の2・3階に位置しており、1階の玄関は、日中に施錠していない。各ユニットの出入り口は、戸を開けるとチャイムが鳴るようになっている。利用者が気ままに外出した際には、後を歩き、タイミングをみて一緒に戻り、外出した理由を探るようにしている。ベッドから立ち上がる際に、持って立てるようソファを反対向きに置いている居室も見られた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 各階ミーティングや合同ミーティング等において、利用者の様々な状態における対応を話し合う事で、虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度概要や申し立て手続きに等に関する説明。専門機関や相談窓口の紹介が出来る体制を整えている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 詳細について、契約時に十分説明し、納得頂いている。また、改定の際には家族会または個別に連絡を取り、疑問点等を尋ね、十分な理解・納得を得られる様、努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者及び家族等の要望・意見・苦情等は、随時相談出来る体制を整えており、主任やスタッフを通じて把握している。また、1F玄関とユニット入口に意見箱を設置している他、家族会で事業所へのアンケートを取り、サービスに活かせる様、努めている。	
			(外部評価) 利用者の日々の様子は、ご家族の来訪時等に報告し、又、月1回個々の担当職員が、身体状況・現況報告について記入し送付されている。以前に行事案内に行き違いがあったことから、全員のご家族に電話で案内の確認を行うよう取組まれている。運動会や餅つき等の行事には、2~3名のご家族の参加があるようだ。ご家族から、「職員の顔と名前がわからない」という意見があり、各ユニットの出入り口には、職員の写真と名前を掲示されていた。年2回、家族会を開催しており、先日の家族会には、15名程のご家族の参加があった。ご家族のみで話し合う時間を持ったり、アンケートに記入していただいた。会議後は事業所内で行う夏祭りにご家族も加わり、利用者と一緒にスイカ割り等を楽しまれた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			合同ミーティング、各階ミーティングを定期的で開催し、スタッフの要望等で実現可能なものは実施している。	
			(外部評価)	
			今回の自己評価は、管理者と各ユニット主任で取り組まれた。毎月の各ユニット毎のミーティング時は、利用者のケアについて意見を出し合い、話し合っている。2ヶ月に1回開催する2ユニット合同ミーティング時は、外部研修の報告や、行事時の出し物等を職員で話し合っており、主任が管理者に報告するようになっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は、日々の日報や行事等の参加により管理者やスタッフの努力や工夫を把握する様、努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人外の研修の紹介及び参加を促し、研修後はミーティング等において報告を行い、スタッフ間での情報の共有、知識の習得に努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			市のグループホーム交流会に参加し、交流を深めている。また、同交流会の研修に積極的に参加している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用開始前の面談により、本人及び家族が困っている事、不安に思っている事、要望等によく耳を傾け、本人及び家族の不安の軽減、安心を得られる様、努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用開始前の面談により、家族から困っている事、不安に思っている事、要望等によく耳を傾け、家族の不安の軽減、安心感を得られる様、努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用開始前の相談の段階において、他のサービス利用についての説明を行い、ホームを利用する場合においても仮入居期間を設ける等して、本人及び家族は必要としている支援を見極めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日々の生活において日課として出来る作業提供(新聞取りやゴミ出し、洗濯物たたみ等)を行い、生きがいのある生活が送れる様、支援している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族会や運営推進会議、行事等に積極的に参加して貰いながら、家族にも利用者を支えている実感を持って貰え、よりよい関係を築ける様、努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも面会出来る体制を整えており、面会者が訪問し易い様な雰囲気作りにも努めている。また、外出支援においても地域資源の活用に努めている。 (外部評価) 利用者の希望で馴染みの美容室を利用できるよう送迎しているケースがある。併設デイサービスを利用している妹さんが会いに来られる時には、一緒に過ごせるよう気を配っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 共有スペースにTVを置いたり、レクリエーションやリハビリ体操への参加によりコミュニケーションを取れる様、支援している。また、各階や併設している他事業所との合同行事により交流を深める機会を作っている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も相談援助を行いながら、必要に応じて支援出来る様、努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のコミュニケーションにより、生活リズムや嗜好、本人の要望等の情報を収集し、意向の把握に努め、個々の望む生活が出来る様、努めている。 (外部評価) 事業所では、センター方式のアセスメント表をアレンジして、個々の思いや要望、暮らし方の希望、できること・できないこと等の情報に取り組んでおり、3~6ヶ月に1回更新して計画につなげておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日々のケアやコミュニケーションの中から個々の馴染みの暮らし方等を把握し、サービスに活かせる様、努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々のバイタル測定、食事の摂取量、排泄チェック等による心身状態の把握し、本人の負担にならない様、留意しながら個々の有する力を発揮出来る様な環境作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	本人及び家族等との話し合い、意見や要望を踏まえたうえで、現状に即した介護計画を作成している。	
			(外部評価)		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	個々の状態や言動を日々の個人記録等に記入し、今後の課題の抽出やスタッフ間での情報の共有を図りながら、介護計画の見直し時やケアに活かせる様、努めている。	
			(外部評価)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	本人及び家族等の相談・要望等に柔軟に対応出来る様、努めている。	
			(外部評価)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	地域のボランティアによる訪問や地域行事への参加や馴染みの店への外出等、地域資源の活用により、利用者一人ひとりの暮らしを支えられる様、支援している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用開始前に本人及び家族が希望している医療機関を受診出来る様、支援している。	
			(外部評価) 利用者やご家族の希望で、現在、利用者の2/3程の方は、それぞれのかかりつけ医で診てもらっており、他の方は事業所の協力医療機関がかかりつけ医になっている。受診時は、ご家族が付き添うようになっているが、ご家族の都合によっては、職員が同行されている。歯科受診は、送迎付きの歯科医院や、利用者の状態によって訪問診療を利用されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の医師・看護師と相談しながら、日常の健康管理等の支援に努めている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時には入院先への訪問や連絡を密に取り、状況把握や早期退院に向けての指導を仰ぎ、実施している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 利用者及び家族の希望や係りつけ医の指示を仰ぎながら、出来る限りの支援に取り組んでいる。	
			(外部評価) 利用契約時の説明の中で「事業所では医療行為ができない」ことを話しておられる。現在、終末期は入院になることが多いが、管理者は「ご家族の希望を聞きながら、できるだけ長く事業所で支援したい」と話しておられた。さらに、ゆくゆくは、利用者が終末期のあり方を選べるように、地域で支える体制作りに向けて、取り組みを少しずつすすめていかれてはどうか。まずは、利用者の気持ち等も探りながら、ご家族や地域の方と話し合うような機会を持ってはどうか。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署の実施する救命講習への参加やAEDを導入する事で、急変や事故発生時の対応に備えている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に消防署の協力を得て避難訓練を実施している他、地域協力者を確保し、地域との協力体制を築いている。	
			(外部評価) 避難訓練は年2回行い、日中の火災を想定し、火元等を変えて実施されている。昨年10月の訓練時には、歩行が安定している利用者も参加し、職員の誘導で階段を降りて駐車場まで避難された。消防署には、事前に訓練の予定を知らせ、通報訓練時には、電話で協力を得られた。いざという時には、近隣の方が駆けつけてくれるようになっており、自治会長には、地域の避難訓練時に、事業所の駐車場を使用してもらえるよう伝えて、地域との協力体制作りにも努めておられる。地震や風水害時等のマニュアルも整備されており、今後はさらに、夜間やマニュアルに沿った訓練等も行っていかれてほしい。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの尊厳を守り、誇りやプライバシーを傷つけない様な声掛けや対応を心掛けている。	
			(外部評価) 利用者が洗濯物たたみや新聞取り等の役割を持って、生活できるような支援に取り組まれている。お茶会を催す際には、お茶を習っていた利用者にも点ててもらうこともある。職員は、普段からご本人のお好きなものや欲しいものを探っており、誕生会時に法人代表者からプレゼントされている。入浴時、女性利用者には事前に同性介助の希望を確認して応じておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者一人ひとりの自己決定や希望を表したりする事を大切にし、利用者が何を望んでいるかを把握出来る様なケアに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			スタッフの都合で業務を進めていくのではなく、利用者が自己のペースを大切に、自己決定や選択出来る様な生活を送れる様、努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			ホームへの訪問美容室の利用等、生活場面にあわせた、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来る様、本人と相談しながら支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			利用者の負担にならない様、留意しながらスタッフと一緒に食事の配膳や後片付け等、有する力を活かしながら実施している。 また、季節の行事には特別なメニューを考えたり、スタッフと一緒に柏餅作りやケーキ作りを行う事で、食事を楽しんで貰える様、努めている。	
			(外部評価)	
			調理専門の職員を配置して、各ユニット別々のメニューになっている。利用者の希望で朝食は、隔日に和食と、パン・スープ・サラダ等の洋食になっているユニットがある。メニューは、食堂の壁に掲示されていた。職員は、利用者の間に入り、同じものを食べながら、食器の位置を代えたり、コップを支えたりして、利用者が食べやすいように支援されていた。毎月の誕生会は、ご本人のお好きなお寿司や、職員と利用者でケーキやどら焼き等を手作りしてお祝いされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			チェックシートを活用して、食事や水分の摂取量を把握し、個々の状態に応じた支援をしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			毎食後、声掛けを行い、個々の力に応じた口腔ケアを実施している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) チェックシートを活用し、個々の排泄パターンを把握を把握する事で、早めの声掛けを行い、排泄の失敗防止や排泄の自立に向けた支援を行っている。	
			(外部評価) 管理者は、「トイレ誘導の声掛けや排泄の失敗時等、自尊心を傷つけない対応」を心がけるよう、職員に話しておられる。利用者全員の排泄パターンを把握し、誘導や声掛けを行い、日中はほぼ全員がトイレで排泄できるよう支援されている。歌がお好きな方には、一緒に歌を歌いながら誘導されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 体操や散歩等の運動だけでなく、水分補給や繊維質の多い食事等により便秘の予防に取り組んでいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その日の体調等に留意しながら、利用者一人ひとりの希望に沿った入浴が出来る様、努めている。	
			(外部評価) 毎日、入浴の準備をして個々に2日に1回の支援を基本にしているが、希望に応じて毎日入浴する方もおられる。脱衣場の棚に、お好きなシャンプー等を入れた個々の洗面器が並べてあった。一番風呂を希望する利用者が多く、順番に希望に沿っておられる。入浴を嫌がる利用者が多いユニットでは、現在、声掛けを工夫したり、タイミングをみて支援されている。浴槽をまたぐことが困難な利用者は、シャワー浴で支援されている。季節によって柚子湯や菖蒲湯を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者によっては、その日の体調等を考慮し、日中でも居室で休息出来る様、支援している。また、不眠状態が続く利用者によっては、医師から処方されている眠前薬を服用する事で、安眠に繋がる様、支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの服薬書類を作成し、スタッフ間での情報の共有・把握に努めている。 また、服薬に変更があった場合には、症状の変化等の確認に努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりが、その有する力を活かした作業(新聞取り、食器拭き、洗濯物たたみ、掃除等)を提供する事により、楽しみや役割を見出し、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様、支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの希望に応じて近隣の公園への散歩等、外出支援に努めている。 また、外出行事の際には、家族等に協力して貰いながら、四季を感じられる場所への外出支援に努めている。	
			(外部評価) ドライブを兼ねた外出は、各ユニットで計画して支援されている。1月は、近くの別宮神社へ初詣に行き、春のお花見や秋の紅葉狩りは、玉川ダム等に出かけ、外食も楽しんでいる。シャンプー等、個別の買い物の希望があると、職員が付き添って支援されている。	さらに、利用者の行ってみたいところや懐かしい場所等、利用者個々の希望に沿った外出支援にも、ご家族等の協力も得ながら取り組んでみられてはどうだろうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には鍵付きのロッカーで預かり、個々に応じて対応している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望に応じて、電話等の通信支援は日常的に支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じた花を生けたり、装飾を置く事で、季節感を取り入れ、物品にも家庭的な物を使用する事で、家庭的で居心地のよい雰囲気作りに努めている。 また、トイレや浴室等は大きな文字で明示する事で混乱を招かない様、努めている。	
			(外部評価) 居間には、利用者の願い事等の短冊を吊った笹飾りが飾られており、畳コーナーの壁面には、塗り絵等の作品が掲示されていた。昼食前には、リハビリ体操を行うことが日課となっており、調査訪問日には午後にも体操を行っておられた。テーブルを挟んで向かい合う二人の利用者が、同じ動きで体操しており、終了後には、「また、明日」と笑顔で声をかけ合っておられた。2階ユニットでは、広い造りのベランダがあり、職員と一緒に洗濯物を干したり、プランターに植えた植物の水やりをする方もおられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間にはソファ・椅子・畳コーナー等を設け、利用者一人ひとりが好きな場所でくつろげる様な空間作りをしている。 また、気の合う利用者同士で過ごしたい場合は、他の利用者から少し離れた場所に座ったり、自身の居室に招いたりして過ごしている。	
			(外部評価) 入居時に本人及び家族とも相談しながら、本人の使い慣れた家具や生活用品、家族との写真を飾る事で、安心して居心地良く過ごせる居室作りに努めている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に本人及び家族とも相談しながら、本人の使い慣れた家具や生活用品、家族との写真を飾る事で、安心して居心地良く過ごせる居室作りに努めている。	
			(外部評価) 居室の窓からは今治城を眺めることができる。各居室の入り口には、パンジーやおおずき等の植物の名前を付けたイラスト入りの札を飾っておられる。迷うことのある利用者には、さらに直筆の名札を入りに貼っておられる。ハンガーラックに洋服を並べて吊っている方は、毎日ご自分で選んで更衣されている。ご家族が用意してくださったカレンダーに、利用者が楽しみに待てるように、お祭りや花火大会の予定を書き込んでおられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価) 手すりの設置や車椅子でも使用出来るトイレ等、利用者一人ひとりの有する力を活かし、安全かつ出来るだけ自立した生活を送れる様、設備等を工夫している。	